



平成19年 5月15日

2面	平成19年度公民館事業スタート
3面	平成19年度公民館関係の組織図
4面	平成19年度関係団体スタート
5面	みんなで仲良く 埋蔵文化財
6面	スポーツ・情報
7面	なかまたち・すぼっと・ こどもの詩・短歌・俳句
8面	視点・声・ペンペン草

# まつかわ百景

⑫

## 「八重桜の収穫」

まだ満開にはなっていないが、「つぼみの状態してほしい」という注文に応え、早めの収穫をしている。(下沢直美さんの園)



この4月より公民館主事に任命されました。公民館のこととはもとより社会人としての経験も浅い私ですが、皆様方のご指導を仰ぎながら精進してまいりたいと思えますのでよろしくお願ひします。

この任に就くにあたり「公民館の基礎知識」を少しひもといてみました。戦後の荒れ果てた国土を再建する展望を持つて公民館構想を打ち出した文が冒頭にあります。『文化が生活に浸透し、教育が社会と連携し、政治が国民と直結し、産業が郷土に根をはるような活々として美しい民主国家・平和国家が建設されることを夢としないために：』という公民館

活動出発の息吹が感じられる感動的なものです。その思いを受けそこに血を通わせ肉を付け生きた文化施設として育ててきた飯伊の公民館の価値ある活動が全国的にも高く評

## 主張

### よろしくお願ひします

価されるものであったということも記されています。また、その後のめまぐるしい世の中の変化につれて、生涯学習の概念が生まれそれが公民館活動と結びつけて考えられるようになってきたことも記されています。これは地域の中で子どもから老人までいつでも学ぶことが大切であるという考え方がかと思われまます。ところで今日高齢化・国際化・情報化といった社会の変化に加え地方のあり方も問い直されています。これらの課題を乗り越えるには、冒頭の崇高な理念と飯伊公民館活動の歴史を胸におきつつ、私たちの知恵と力を高めるための地道な努力が大切と考えます。

こんなことを感じながら今は目の前の仕事をこなすことさえ困難な私です。

松川町公民館主事

新井 直彦

# 平成19年度

# 公民館事業スタート

『住みよい環境づくり』  
『あいさつから始まる地域づくり』

社会部長 米山春彦

16年度よりスタートした街頭あいさつ運動も早いもので3年が過ぎました。各地区公民館の皆様にもご理解ご協力をいただき深く感謝致します。

「公民館活動は人づくり」であると共に「地域づくり」でもあると考えます。いつでも！どこでも！だれでも！認め合つて！いろんな皆さんの考えでこの町が住みよい素敵な町になることを願います。あいさつと言うごくあたりまえのことではありますがこの活動を長く続けることで地域の子供も大人も活き活きと元気になれる事を願いたいものです。また、子供達の安全はもとより、地域の防犯対策にもなればと思います。今後とも多くの皆様のご理解とご協力を宜しく願っています。

さて、昨年町制施行50周年の節目の年を迎えました。自

然環境も社会情勢も大きく変貌を問われる時代、日々の忙しさに追われ、「心のゆとり、多くの人とのつながり」をつい見失つてはいないでしょうか…？

長い歴史の中で多くの諸先輩方々が築いてきてくださった公民館活動も、更に多種多様なニーズへの対応が要求されてくることと思われま



定着してきたあいさつ運動

館部員はもとより、地区公民館の皆様、諸団体、学校、地域住民の皆様とのさらなる連携のもと多くのアイデアを出し

合い元気の出る楽しい公民館活動にしていきたいものです。

本館社会部では、あらゆる環境問題、音楽祭、映画会、人形劇、成人講座と引き続き企画運営してまいります。また、新たな情報収集も要求されることと思われま

は新たに1名の新部員を迎え活動してまいります。関係団体、地域の皆様のお力添え宜しくお願いいたします。

## 親子で一緒に

## 参加しよう!!

体育部長 宮澤武彦

本年度の体育部の事業計画は例年通り、ファミリー登山・トランポリン教室・駅伝大会・スポーツフェスティバルを予定しています。また今年には体育部のテーマである「ニュースポーツの普及」の一貫として、キンボールの体験講座を計画しました。昨年、体育部員が参加した県民スポーツフェスティバルで体験してきた、キンボールの面白さをみなさんに体験



「キンボール」の一層の普及を目指します

して頂きたいと思えます。1月にはニュースポーツフェスティバルにて、その他のニュースポーツをたくさん紹介し、体験していただきたいと思えます。また近年各地区館の行事にもニュースポーツを取り入れて頂き、大変嬉しく思います。今年も各地区館にお邪魔して、ニュースポーツの紹介を考えたいと思います。皆さん遠慮なく体育部員に声を掛けて下さい。毎年多くの皆さんに参加して頂く、トランポリン教室、駅伝大会もさらなる充実をはかりたいと思えます。

体育部が計画した行事は、大人から子どもまで一緒に参加し、一緒に楽しめるものばかりです。是非親子で参加して頂き親子で楽しんで頂きたいと思えます。

## 心のこもった

## 館報づくりを

編集部長 宮下和子

昨年4月から公民館報と広報まつかわが合冊形式となり1年が過ぎました。

試行錯誤の末の合冊については折にふれて町民の皆さんから多くのご意見を頂いております。暖かいご意見から嬉しいご意見までお聞かせいただき、皆さんが館報を熱心に読んで下さっているのだから、と嬉しく思います。

同じく2年目を迎えた「まつかわ百景」も季節の移り変わりを町の随所でとらえ、身近に感じられる1枚となっているのではないのでしょうか。

500号発行を記念しての縮刷版も近いうちに皆様のお手元に届くかと思いますが、近所のおじさんの若い頃とか、子供の頃の作文とか、懐かしい昔を思い出すきっかけになればと思います。

「親しみやすい館報を目標に努力を続けて参りますので、取り上げてほしい事などお知らせ下さいれば取材に向いて参ります。

部員一同、心のこもった館報づくりを心がけたいと思えます。

# 19年度 公民館関係の組織構成

## 教育委員

委員長 倉田 紀(南方)  
 〃職務代理 南林佐紀子(町谷)  
 委員 片桐 一美(諏訪形)  
 委員 橋場正農夫(中山)  
 教育長 鋤柄 郁夫(宮坂)

## 社会教育委員

委員長 堤 久(古町中部)  
 副委員長 大澤 美子(上町)  
 委員 奥田千世子(堤原)  
 委員 福沢 貞和(中山)  
 委員 佐藤 清(滝の沢)  
 委員 佐々木順子(宗源原)  
 委員 水上 博之(東小学校)

## 運営審議会委員

会長 宮下 繁(議 会)  
 会長代理 堤 久(社教委)  
 委員 米山 由子(議 会)  
 委員 松本 富雄(中央小学校)  
 委員 原 美穂(北小学校)  
 委員 西尾 恒子(女団連)  
 委員 下平 勉久(社 協)  
 委員 米山 政則(奥小PTA)  
 委員 大塩 達也(北小PTA)  
 委員 大澤 美子(社教委)  
 委員 奥田千世子(社教委)  
 委員 神村 憲好(体育協会)  
 委員 松浦 操(文化協会)

## 体育指導委員

委員 松尾 正幸(学識経験)  
 委員 桃沢 茂春(学識経験)  
 宮下 明 (宗源原)  
 唐沢 敏行 (部 奈)  
 金子 茂 (清泉地一)  
 大島 賢悟 (馬 坂)  
 池野 妙子 (宮 坂)  
 原田智妙美 (羽 場)

## 本館部員

〇印：部長 ○印：副部長  
 〇米山 春彦 (大沢北部)  
 〇矢澤 恵樹 (松 川)  
 小島 慎司 (中央第二)  
 岩崎 敏宏 (古町東部)  
 奥田 茂 (堤 原)  
 湯澤 秀樹 (増 野)  
 水野耕一郎 (桑園東部)  
 大場 将博 (堤 原)  
 吉川 佳弘 (大沢北部)  
 堀木 拓也 (下垣外南部)

## 地区協議会

〔大島地区〕  
 協議会長 湯澤 徳晴(増野)  
 主 事 山口 克幸(原 田)  
 主事補 渡辺 克志(本 町)  
 〔上片桐地区〕  
 協議会長 市瀬 一登(清泉地上)  
 主 事 上沼 英彦(大 栢)  
 主事補 片桐 雅彦(城 )  
 〔生田地区〕  
 協議会長 下澤 重利(中 山)  
 主 事 松下 聡(長 峰)  
 主事補 高坂 竜夫(福 与)

〔体育部〕  
 〇宮沢 武彦 (中 山)  
 〇塚本 聡 (上 町)  
 宮下 剛彦 (樫 原)  
 大島 賢悟 (馬 坂)  
 橋場 龍司 (中 山)  
 神田 康憲 (上 町)  
 宮脇 俊典 (新井南部)  
 松村 毅 (古町北部)  
 下平有希子 (部 奈)  
 大島 崇 (古町東部)

公民館長 松村 直彦

## 教育委員会事務局

教育長兼図書館長兼資料館長 鋤柄 郁夫

## 地区公民館役員名簿

地区館名	館長 [副館長] (会 計)	主 事 [主 補]	社会部長		体育部長	
			社会部副部長	社会部副部長	体育部副部長	体育部副部長
古 町 地区公民館	小川 光兵	中島 浩之 柏原 正和	市岡 智 吉川 貴尋	野原 義宏 宮下 明弘	野原 義宏 宮下 明弘	
上 新 井 地区公民館	佐藤 清	湯沢 健司 林 良明	中平 信次 中平 芳照	寺沢 喜浩 福沢 隆夫	寺沢 喜浩 福沢 隆夫	
名 子 地区公民館	水野 泰秀	黒塚 賢志 北澤 秀人	佐々木 孝 山上 秀穂	原田 和房 松下 修司	原田 和房 松下 修司	
上 大 島 地区公民館	湯澤 徳晴	松尾 雄平 保井 敏	林 正茂 桜井 智史	松尾 豊 小木曾 剛	松尾 豊 小木曾 剛	
上 片 桐 地区公民館	市瀬 一登 [鎌倉久雄] (小池)	上沼 英彦 片桐 雅彦	下平 耕司 松尾 宏昭	原 高広 片桐 宏尚	原 高広 片桐 宏尚	
福 与 地区公民館	下沢 秋信 (大村 広栄)	下澤 秀樹	寺沢 正行 久保田 智	細川 容宏 片桐渡久成	細川 容宏 片桐渡久成	
生 東 地区公民館	下澤 重利	池上 徹 [下澤 達則]	下澤 正治 小椋 英司	松澤 博文 市岡 和勇	松澤 博文 市岡 和勇	
部 奈 地区公民館	林 秀人 (北林 義宏)	林 利文	林 貞喜 林 俊晴	北林 修 北林 茂伸	北林 修 北林 茂伸	

事務局長 村田 肇  
 学校教育係長 長谷部 守  
 資料館・図書館係長 酒井 幸則  
 社教係長兼公民館主事 畑中 英樹  
 社会教育指導員 宮下 千波  
 社教係兼公民館主事 新井 直彦  
 学校教育係 下井 明子  
 図書館司書 清田 洋子  
 図書館 齊藤 秀子  
 社会教育施設管理 井上 徳明  
 名子原体育館管理 松下 勝子  
 福与体育館管理 高坂美智子

〔福与体育館〕 (電話) 36-6205  
 〔名子原体育館〕 (電話) 36-6311  
 〔資料館〕 (電話) 34-0733  
 〔図書館〕 (電話) 36-3746  
 〔中央公民館・町民体育館〕 (電話) 36-2622  
 〔教育委員会事務局〕 (電話) 36-7023

■連絡先

# 平成19年度関係団体スタート

## 老人福祉法と

### 老人クラブ加入お願い

拾聖マリア農園 久保政人

「老人福祉法とは」

昭和38年に施行された法律でその13条に「地方公共団体は老人福祉を増進することを、目的とする事業の振興を図ると共に、老人クラブその他当該事業を行う者に対して、適当な援助をするように努めなければならない。」とあり老人クラブに対する公的助成の位置づけがされています。

「老人クラブ加入のお願い」昭和33年に名称を松川町長生会として発足。その後山吹里見、生田と合併。昭和46年松川町老人クラブ連合会と改名、今年51年目を迎えている。老人クラブは高齢者が自らの老後を、豊かにするための自主的組織で、会員相互の親睦を深めると共に、健康づくりや社会奉仕活動、生きがいを高めようとする、各種活動を行っている。

環境には恵まれているが、会員の高齢化が進み若干会員

がない。今は事業の推進が困難となってきました。

歴史ある老人クラブ、社会に重要な存在である老人クラブへご加入いただき、皆様の尊い人生経験を生かして戴き、老人クラブにお力添えを賜りたくお願い申し上げます。

## 文化協会の今年

文化協会長 久保田光男

昨年は町制50周年という節目にあたりまして、張り切つて各種事業に取り組みました。今年はやや気落ちした感もありますが、昨年の情力を基に一層力を合わせて事業に取り組んで参りたいと思っております。

事業計画はたてましたが、細部についてはこれから検討して参る予定であります。主な事業は各クラブでそれぞれに活動されていますのでそれらが一堂に集まる時が秋の文化祭であり、今年10月19日、20日、21日と行われます。演芸の部は20日午後より1

年間の成果が舞台において発表されます。昨年に続いて大変見事な作品や演技が見られることと思います。

その他、研修旅行、町内史跡めぐり、講演会等を予定しています。

## 女性団体連絡会の

### 連帯の輪をめざして

女性団体連絡会長 堀木眸子

平成18年度の女性団体連絡会の活動に對しましては、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。19年度は12の団体参加のもとに出発いたしました。

### 今年度の活動方針

・町内の女性団体が情報交換を行い、相互に連携をはかり、共通の課題に取り組み女性の地位向上と、明るく住みよい町づくりに寄与する。

・女性団体連絡会への加入促進。19年度事業計画

- ①総会の開催と記念事業
- ②男女共同参画町作り推進事業
- ・女性講座の開催
- ・女性フォーラム
- ・男と女いきいき講座参加

- ・研修講座の紹介と参加勧誘
- ・町男女共同参画推進委員会の事業への協力
- ・先進地との交流会

- ③女性団体連絡会だより発行
- ④町議会傍聴(年間4回)
- ⑤会議

- ・総会……5月29日
- ・理事会……必要に応じ開催
- ⑥組織強化

- ・女性団体連絡会への加入促進
- ・女性団体連絡会を積極的にPRし、存在感を出す。
- ・講座及び各種事業に、未加入者へ参加の呼びかけ

- ⑦町内各団体の行事・イベント集会等への参加
- ◎これからの課題

稀薄になりつつある各団体の連帯感、そして活動意欲をいかに高めるかを考え、会員の情報交換を密にし、加入団体の増加を計ることを課題と考えています。皆様のご協力の程お願い申し上げます。

## 住んで楽しい

### 松川町

体育協会長 神村憲好

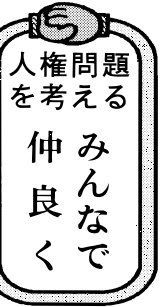
日頃は、体育協会の事業に

対し関心・応援などいただきこの場をお借りして感謝申し上げます。現在体育協会のクラブ数18クラブ、2,000

人により体育の振興と体位の向上とを図る目的で日頃よりがんばっています。引き続き応援をお願いします。

さて、スポーツ界において最近話題に上がっているのが「総合型地域スポーツクラブ」の設置です。今後少子高齢化社会の急激な進展や子供たちの体力の低下傾向が続く中、生活の利便化に伴い日常生活における身体活動がますます減少することから、活力ある健康的な生涯スポーツ社会の実現が求められています。そのため、誰もがそれぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じていつでも、どこでも、だれとでも、いつまでもスポーツに親しむことのできる総合型地域スポーツクラブをみんなで作ることが求められています。この実現により、松川町に住んでよかつたと思いい、多くの人たちとの地域コミュニティができ、子供たちが生き生きと育ち、お年寄りが健康で元気に過ごせる松川町をめざしましょう。





6年進級の日

中央小 6年2組 片桐祥子

私が「友達」という詩を読んだ思ったこと、それは、友達というものの大切さです。自分一人では、のりこえられないこと、友達をばげましてくれらることで、そばにいてくれること、すぐく楽になります。それから、私は、友達を大切にすることをしたいです。詩の中に、「生きていてつらいことや、さみしいことがあった時、一番嬉しいのは、友達がやさしくしてくれらることです。力を貸してくれました。そのとおりだと思いません。私もさみしいことがあった時、一番うれしいのは、友達が優しくしてくれらることです。」と書いてあります。その友達には、私にやさしくしてくれらるような、小さな勇気があったんだと思います。私も、友達を支えてあげられるような、助けてあげられるような、小さな勇気を作っていきたいです。

6年進級の日

中央小 6年2組 前田 萌

私が、6年進級の日を読んだ詩の思ったことは、「ともだちを大切にする」「ともだちをはげます」など、そんな風にしてくれるのは、ともだちです。「生きていてつらいこと、さみしいことがあったときは、ともだちです。」

困った時や一緒に遊ぶなどいつも、どこでも、ともだちが力になってくれます。そんな、友達の大切さが、改めて分かりました。友達とけんかをした時、「ちゃんとなやまれるかな。」という時が時々あります。「そのままあやまらないでいれば」と心の悪魔が言います。こんな悪魔をたおすには、ほんの少しの小さな勇気が必要です。

そんな小さな勇気を出せばきつとあやまれると思います。こんな風に、いつでも小さな勇気を出して友達と1日1日を過ごしていきたいと思います。



あらたな目標に

中央小 6年2組 杉山美貴

先生に配られた詩を読みみました。「いきってつらいことやさみしいことがあったときいちばんうれしいのはともだちがやさしくしてくれらることです。」

本当に詩のとおりだと思えます。私もつらかったり、さみしいとき、一番うれしいのは、やっぱり友達にはげましてもらおう・やさしくしてもらおうことです。これと反対に、友達が困っていた時・さみしい時は、私が助ける人になるのです。

でも、なかなか私は勇気が出ません。だから、少しでもいから小さい勇気を出したいです。友達をはげます。友達を助ける。そんな事を、勇気を出してやっていきたいです。

私が友達にやさしくしてもらうように、私も友達にやさしくして、友達がうれしいなと思ってくれるように努力していきたいです。

学校生活最後の年を、この授業で学んだ事をあらたな目標にしていきたいです。

松川町の文化財

(338) 埋蔵文化財 (236)

大島城(2) — 大島城の呼び方 —

教育委員会 酒井幸則

松川町の中世城館跡  
下伊那の人たちは大島城のことを「台城」、あるいは「台城の城」と呼んできました。遠方から訪れる人は大島城と呼びます。「台城の城」というと、「城」が二つ重なっておかしいわけですが、実際にはこう呼ばれています。

城が造られた頃の史料には台城という呼び名は出てきません。単に「大島」、あるいは「大島の城」とあります。当時はこのようにその地域を示す呼び方が一般的でした。

江戸時代の史料には「台城」、「台ヶ城」、「猿ヶ鼻城」とあります。しかしこれらは城があった頃の史料にはみられない呼び方なので、後に付けられたものと考えなければなりません。

ただ、台城という呼び方は注目されます。当時、地域の拠点となる城、あるいは特別な意味のある城は「大城」と呼ばれたこともありました。「たいじょう」あるいは「おおじょう」などと呼ぶわけ

ですが、戦国時代に武田氏が大島の城を全面的に修築して伊那郡経営の拠点とし、ここに武田の重臣が入っていたことから、あるいはこの地域において中心的な城として、俗に「大城」と呼ばれた可能性はあります。「大」の文字が変化して「台」となっているのかもしれない。「猿ヶ鼻」という名は、城のあたり、特に本丸一帯の地名のようです。ここには「猿ヶ鼻神社」が祀られています。

その昔、地域の領主は日常生活の館の他に戦争用の城を造っていました。大島郷を領地とした大島氏が造った城は「大島の城」、名子郷の名子氏の城は「名子の城」と呼ばれたのです。

城の呼び方は、基本的にはその地域を指し示しています。



# 新緑萌える中

## さわやかスポーツ!!

### 松川町ゲートボール 連盟春季大会

松川町ゲートボール連盟の春季大会が4月18日(水)に運動公園グラウンドにて行われた。

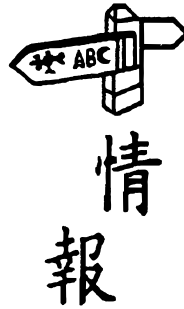
- 優勝 結果は次のとおり。
- 優勝 中ぶし
- 準優勝 中の村
- 第3位 さくら

### 松川町まつかわの里 マレットゴルフ大会

松川町マレットゴルフ同好会主催による松川町まつかわの里マレットゴルフ大会が、4月9日(月)に清流苑マレットコース(36ホールパー144ストロークプレー)で行われた。参加者120名(男性69名・女性51名)が熱戦を繰り広げた。結果は次のとおり。(スコア)

- 総合優勝 松下 陸次 (104)
- 男子の部
- 優勝 大木島 巖 (107)
- 準優勝 川瀬 十藏 (108)

- 第3位 仲田 泉 (109)
- 第4位 北沢 正一 (109)
- 第5位 林 鏡一 (111)
- 女子の部
- 優勝 大沢三世子 (106)
- 準優勝 大石 爲子 (109)
- 第3位 今村 利恵 (112)
- 第4位 細江 節子 (113)
- 第5位 佐藤 幸子 (114)



# 情報

### 本館行事

- 〈まつかわ寄席〉
  - 期日 6月17日(日)
  - 会場 中央公民館
  - 時間 午後1時〜
- 〈体験講座(キンボール)〉
  - 期日 6月15日(金)
  - 会場 町民体育館
  - 時間 午後7時〜
- 〈家族で遊ぼう〉
  - 第1回
  - 期日 6月5日(火)
  - 会場 町民体育館

### 第2回

- 期日 6月19日(火)
- 会場 高森町 丸山公園
- 〈街頭あいさつ運動〉
  - 日時 6月4日(月)
  - 午前7時〜8時
  - 場所 町内各所・学校周辺

### 地区館行事

- 古町地区公民館
  - 〈ソフトバレーボール大会〉
    - 期日 6月10日(日)
    - 会場 福与体育館
- 上新井地区公民館
  - 〈健康問題研究会〉
    - 期日 5月26日(土)
    - 会場 上新井公民館
  - 名子地区公民館
    - 〈ソフトボール大会〉
      - 期日 5月27日(日)
      - 会場 運動公園グラウンド
    - 〈ソフトバレーボール大会〉
      - 期日 5月27日(日)
      - 会場 町民体育館
    - 〈健康学習会〉
      - 期日 6月1日(金)
      - 会場 名子公民館
    - 〈バドミントン大会〉
      - 期日 6月24日(日)
      - 会場 町民体育館

### 上大島地区公民館

- 〈環境浄化・ごみ拾い〉
  - 期日 5月27日(日)
  - 場所 上大島各地区
- 〈歩け歩け大会〉
  - 期日 6月10日(日)
  - 行き先 池の平

### 上片桐地区公民館

- 〈花いっぱい運動〉
  - 期日 5月20日(日)
  - 場所 上片桐農道沿
- 〈フェスタぎおん〉
  - 期日 6月30日(土)
  - 場所 上片桐改善センター

### 生東地区公民館

- 〈環境美化運動〉
  - 期日 6月24日(日)
  - 場所 生東各地区

### その他行事

- 〈第7回団体対抗バドミントン大会〉
  - 期日 6月3日(日)
  - 会場 町民体育館
  - 主催 松川町バドミントン協会
  - その他 参加申込が必要

### 「家族読書の日」について

#### 教育委員会

本年度から、教育委員会を中心に、「まつかわ家族読書」を推進して参ります。家族の教育力の低下が問われる中、1週間に1日、10分間でも20分間でも家族みんなが額を寄せて読書をする事により、家族の絆を深める一助になればと思います。また、読書は豊かな人間形成に欠かせないといわれています。

「毎週金曜日はまつかわ家族読書の日」どうぞよろしくお願ひします。

さあ読もう読書は心の栄養素

毎週金曜日は... 家族読書の日

形にとらわれず、はじめてみましょう。

子どもが読む本を、家族みんなで聞き語り合う。家族で決めた当番が本を読み、感想を出し合う。昔話などを、大人が子どもに聞かせてあげる。20分ほど各自好きな本を読んだあと紹介し合う。等

テレビのスイッチを切ってみんな笑顔で

優しい気持ちが生れます

本でつながる 家族の話・輪・和

静かなひとときが訪れます

想像(創造)の世界が広がります

松川町・松川町教育委員会・松川町小中学校・松川町小中学校PTA・松川町公民館・松川町図書館・松川町保育所・松川町保育所保護者会・松川町子育て支援センター



### 重厚で奥深い刻字に魅せられて

文化協会 刻字教室



刻字は板へノミやツチといった道具を使って字を彫り、色を塗ったり金箔を貼ったりして作品に仕上げます。文化協会の刻字教室では年に一度作品を持ち寄って話をしたり、講演を聴いたりしています。現在、会員は15人で教室自体は年に一度しかない為全員揃うことはないそうですが、和気あいあいとした雰囲気です。むしろそうです。そして、発表の場となる町の文化祭にむけて、各自、家で作品を作ります。

刻字は難しく、彫るだけでなく色を塗るときも塗り方によつてはひびが入ったりしてしまйнаかなうまく出来ないうつた時はとてもうれしく感じるということ。今回、講師の方を迎え講演会が開かれましたが、皆さん熱心に話を聴き、先生の作品を見ながら質問をしていました。文化祭で完成した作品を見るのが楽しみです。



### すぽと 公民館年始総会が開催される

平成19年度の松川町公民館年始総会が、5月7日(月)中央公民館において開催された。この総会は町内の公民館関係者が一同に会し、年間の事業計画の確認と協力、連携を計ることを目的として情報交換を行う場である。

民一人ひとりがうるおいと生きがいをもって人生を過ごせる学習の推進と支援を考えていきたい」とその思いを語った。続いて、本館の事業計画と

ただきたい。その後の各地区公民館長による活動方針や事業概要の発表では、各地区の伝統ある活動の他に、今年初めて取り組む特色ある事業についても具体的に説明がされた。

始めの松村公民館長のあいさつでは、「生涯学習は人と人とのふれあいによる共育ち学習であることが大事で、町

して各種生涯学習講座の日程や内容、さらに本館専門部からの年間事業計画の発表がされた。なお、専門部の方針については本号の特集をご覧ください

総会終了後には、館長・主事会、そして合同の社会部員会・体育部員会も開かれ、いよいよ平成19年度の公民館事業のスタートとなった。(公民館事務局)

### こぶしの詩

正反対

北小4年 増田莉奈  
お姉ちゃんは中学生になった  
私はまだ小学生

お姉ちゃんは今も早起きしている  
お姉ちゃんが小学生の時私の方が早起きしてた  
なのに今はその正反対  
私がお姉ちゃんよりおそく起きる  
お姉ちゃん「最近ねほすけになつたね。」  
私がかわつてないよ

### 野球をはじめの大地

北小4年 清水大地

カムイに行った  
グローブと服とズボンと  
にかく野球の物を買った  
「やったー。」  
ぼくが言った  
お母さんが  
「これで野球がんばりなよ。  
キャッチボールしてくれ  
人が4人もいるから」  
と言った。

おじいちゃんはおじいちゃん  
ぼくもがんばつて  
おじいちゃんの16年を  
ぬかずぞー  
もえてきた

### 俳句

小椋まち子

山の上母校に二人入学児  
薯を植え八十八夜来るを待つ  
母の日や三人の母がすこやかに  
故郷は山菜満つる頃となり  
鯉のぼり我が家をはなれ川渡る

### 短歌

北原愛子

一筋の飛行機雲西に伸びゆきて  
荒野の風は軽き音立つ  
水平線に落ちる夕日は波にゆれ  
晩夏のひと日静かになれる  
トンネルを出ずれば木々のかた  
く木曾はいまだに冬覚めぬらし  
春がすむ紀井松島の島めぐり陽  
つきくるわが船追いて  
ボランティアの帰りに寄りし観  
桜会割烹着なるも何時しか忘れる

# 声

## 「家族で遊ぼう」に参加して

宮下 秀子

4月17日に行われた「家族で遊ぼう」の開講式に初めて参加させていただきました。

きっかけは、上の子の保育園で知り合った方に誘ってもらい何となくでしたが、子供の表情はいつもとは違い真剣でした。そんな子供の様子を見て「これはこの子にとって私にとってもプラスになるなあ」と感じました。家にいるとき子供がよい子

で遊んでいると、今がチャンスとばかりに家事をしてしまいます。ぐさつて仕方なく抱っこしてあげるといふ繰り返しで、上の子達が帰ってくればまた忙しくなりバタバタして一日が過ぎてしまいます。こうしてこの子と向き合っているうちにこの子が作れる事がうれしく思いました。そして子育て中のお母さん達との交流はいやされるものです。

私は昨年の末に引っ越してきました。しかも他国で子育てをしてきたので日本に来て実感する事があります。日本の子育ての環境はとても素晴らしいという事です。特に松川町は子育てをとても積極的に支援して下さりありがたいと思います。これから参加するのを楽しみます。



## 新社会人として思うこと

4月から松川荘で介護職員として働いています。実際に現場で働いてみて思うことは、学生の時みたいにはいかないということを実感しています。社会人になってから、責任という言葉を強く感じています。学生の時は、誰かが守ってくれていたけれど、社会人は甘い考え方でいるわけにはいきません。改めて、現実の厳しさを感じています。現場で働き始めてから1ヶ月が経ちました。少しずつ環境や仕事に慣れ始めてきましたが、まだ仕事の内容は覚え切れていないというのが現実です。



「親子でふれあい遊び」の一場面

## 北林のぞみ

1ヶ月は過ぎたけれど、慌ただしく働いています。慌ても仕方がないので焦らずに一つ一つのことを丁寧に働けたらいいと思っています。疲れていると顔にも表れてしまうのでどんな時でも笑顔で、疲れた顔をしないように。さらに介護をする時にも相手の立場に立って、笑顔で安全に介護が出来るように心がけていきたいと思っています。これからも早く仕事が覚えられるように頑張っていきたいです。

# 草

目にも鮮やかな新緑の季節となり、「仕事ガンバルぞっ!!」と言う気持ちで毎日過ごしている。

「有りがとうございます。〇〇会社〇〇でございます」明らかに緊張している上ずった声で電話の向こうから聞こえてくる。新入社員であろう一生懸命な声である。ついつい出したことの無いような優しい声で対応してしまうのは人情か。私にもこんな時があったよなあ。などと柄にもなく感慨にひたるが今の私はどうだろう。仕事が顔なじみの方達との接客のため馴れ合いになっではいかなかっただろうか、と反省、反省、大反省だ。「親しき仲にも礼儀あり」で節度ある接客を。「初心忘るべからず」で緊張感のある毎日。

宮下和子



## 町の古民具 ③ わたし

いろいろの炭火で餅などを焼く道具



公民館報  
「まつかわ」  
第 523 号  
平成19年 5月15日

発行所 松川町公民館  
責任者 松村直彦  
編集人 公民館編集部  
Tel 36-2622  
e-mail: ckouminkan@matsukawa-town.jp  
飯田市上郷黒田121  
印刷所 龍共印刷(株)